



令和8年度 真庭市立北房小学校グランドデザイン

【学校教育目標】

ふるさとを愛し 未来に向かって かがやく 子どもの育成



【めざす児童像】

●仲よく助け合う子ども ●めあてをもって学ぶ子ども ●元気で粘り強い子ども

本校の教育課題

- ・学ぶ意欲の育成と学力向上
- ・心の教育の充実
- ・体力向上と健康増進
- ・学校の教育力の向上
- ・開かれた学校づくり

【目指す学校像】

- ・笑顔あふれる楽しい学校
- ・活力に満ち みんなで伸びる学校
- ・保護者・地域とつながり 信頼される学校

本校のミッション(使命)

- ・豊かな心、確かな学力、たくましい体力を身につけた子どもの育成
- ・地域に愛情と誇りをもち、社会に貢献できる子どもの育成
- ・保護者、各種団体、地域と連携した教育の推進

連携

連携

家庭と

- 知徳体の連携
- 家庭学習のきまり
- ・決まった場所
- ・決まった時間
- 人権参観日
- ・人権講演会
- 生活リズム
- ・早寝、早起き
- 朝ごはん
- ・メディアコントロール

仲よく助け合う子ども

ゆたかな心づくり(徳)

- 心の通った人間関係づくりをし、児童の自己肯定感や自己有用感を高める。(思いやりに満ちた仲間づくり、がんばりを「認め」「ほめる」指導)
- 基本的な生活ルールを身につけさせる。(あいさつ・返事、学校・学級のきまり、適切な言葉遣い、清掃活動、メディアコントロール)
- 委員会活動、学級の係活動、縦割り班での活動の充実を図る。(児童の自治意識の高揚、やり遂げ認められる場づくり)

めあてをもって学ぶ子ども

確かな学力づくり(知)

- 児童が「やってみたい」「わかった」「できた」と実感できる授業づくりに努める。
- 個に応じた指導を工夫し、基礎的基本的な知識や技能の確実な習得を図る。
- ICTの効果的な活用を進める。(授業で、基礎基本の定着で、家庭学習で)
- 個に応じた指導を工夫し、基礎的基本的な知識や技能の確実な習得を図る。
- 家庭での学習や読書の習慣化と充実を図る。

元気で粘り強い子ども

健やかな体づくり(体)

- 児童が主体的に運動に親しめるように努める。(児童が進んで運動する体育の授業づくり、「ロング昼休み」による外遊びの奨励)
- 基本的な生活習慣を確立させる。(家庭と連携した「早寝早起き・朝ご飯」、「メディアコントロール」の取組)

地域と

- 地域交流
- ・地域学習
- 環境・歴史文化学習
- ・ホタル学習
- ・バイオマス学習
- ・古墳学習
- 地域との交流
- ・福祉・介護施設訪問
- 学習支援ボランティア
- 見守りボランティア

【校内研修 研究テーマ】

主体的に学びに向かう児童の育成

～「やってみたい」「わかった」「できた」を引き出す
算数科の授業づくりを通して～

地域組織との連携

- 学校支援ボランティア(学習・見守り)
- 福祉学習(施設、手話、点字等)
- 環境学習(ホタル、バイオマス)
- 地域歴史文化学習(古墳、ぶり市)
- コミュニティ・スクール事業

学校・園との連携・接続

- 北房こども園・北房中学校との園小中連携・接続
- 放課後児童クラブとの連携
- 北房教育研究会

岡山県教育の基本目標

『こころ豊かにたくましく未来を拓く』人材の育成

真庭市のめざす学校教育

『確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成』